

A. 日時 2012 年 9 月 24 日 (月) 17 時 00 分～19 時 00 分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 井上勝夫, 岩本 毅, 岡野利行, 古賀貴士, 坂本慎一, 佐久間哲哉, 田端 淳, 中澤真司, 永松英夫, 羽入敏樹, 濱田幸雄, 宮島 徹, 横山 栄, 吉村純一 (敬称略)

欠席者 安藤 啓, 大島拓也, 平光厚雄, 峯村敦雄 (敬称略)

D. 提出資料

2012 年度第 2 回音環境運営委員会議事次第

No. 2-0 2012 年度第 1 回音環境運営委員会議事録 (案)

No. 2-1 2012 年度第 2 回環境工学委員会議題

No. 2-2 催し物実施計画書：第 72 回音シンポジウム スピーチプライバシーの評価と制御
－音声情報漏洩防止の観点から－

E. 議事

1. 前回議事録の確認

- ・ P2 の 29 行目：2.2 審議事項 4) 以降の番号を訂正.
- ・ P3 の 5 行目：催し物実施日 “12 月 5 日” については、その後、“11 月 27 日” に変更となった旨、追記.
- ・ p4 の 5 行目：“結果的 ss” の “ss” は削除

2. 環境工学本委員会の報告

2.1 報告事項

(1) 学術推進委員会 (7/18) 報告

- ・ 砂土原委員長より、講習会を多く開催する工夫をして欲しいとの話があった
- ・ 2012 年度大会の発表件数は全体で 6,779 件、環境工学は 1,283 件
- ・ 東北地方太平洋沖地震関連では、東日本大震災合同調査報告書が作成されており、2 周年シンポジウムが 2013 年 3 月 27 日～29 日の 3 日間で開催されることとなった。3 日目は個人、研究グループ、各委員会の厳選した発表を学会ホールで開催予定。原稿募集については後日案内がある。
- ・ 第 51 回竹中育英会建築助成金について、交付者は未決定である旨、報告があった。
- ・ 学会活動の活性化に向けた取り組みとして、学会ホームページがリニューアルされ、クレジットカード決済が可能となった。ホームページを見て気づいた点があれば、審議していただきたい。
- ・ 電子情報化の推進として、学術推進委員会傘下の調査研究委員会のホームページが統一された。
- ・ 講習会、シンポジウム等は Ustream 配信を前提として準備をしていただきたい。地方支部に Ustream 対応の設備を積極的に取り入れたい旨、学術委員会に上申予定。

→Ustream 配信に関して、聴講料を取らないとシンポジウム収入が減少するのではないかと懸念

- ・ 予算配分見直しについて、消化率が低かった委員会については配分額が過剰であったと判断でき、年度始めは90%配分とし、残りの10%は12月の申請に基づいて再配分する案が示された。音環境運営委員会は旅費対象者が少なく、消化率が低いいため、各小委員会主査は、ぜひ消化率をあげていただきたい。
- ・ 2013年度大会の準備日程案が提示され、11月19日にOS提案締切、電子投稿は4月10日、プログラム編成は4月24日
- ・ 特別研究委員会若手奨励の公募は、10月26日が締切。各委員会で話題が出ていたら、一之瀬さんに連絡していただきたい

(2) 震災対応 WG 報告

- ・ 東日本大震災合同調査報告書を作成する過程で、音環境でも話題があるのではないかと意見があり、依頼があった場合には資料提出などご協力いただきたい

(3) 建築学会環境規準作成小委員会報告

- ・ 建築学会環境規準作成小委員会より、制定から5年以上が経過した建築学会環境基準（AIJES）など4件が見直しに該当する旨、報告があり、古賀主査に検討依頼済み。
→5年後すぐに見直さなければならない訳ではないが、現在、著者およびヒアリングによって検討中。
- ・ AIJES改定（小改定に限定）におけるシンポジウムおよびパブリックコメント募集が省略できることになり、「微生物による室内空気汚染に関する設計」がこれに該当すると承認された。学校建築についてもこれに該当するようなら、書式に則って申請して答申をされたい。
→小改定の場合にも刷り直し

2.2 審議事項

(1) 業績候補推薦

- ・ 大賞、文化賞の推薦依頼があり、それぞれの最終締切が2013年1月18日、2012年12月に提出となっており、次回、本委員会にて審議予定となっているので、推薦する方がいれば濱田主査に連絡して欲しい旨、依頼があった。該当者がいれば、本委員会（運営委員会と同日開催）で推薦するため、メール審議をお願いしたい。
- ・ 教育賞（教育業績）については、音環境運営委員会としては2年続けて安岡先生を推薦したが、来年度は北海道支部の推薦で荒谷昇氏「積雪寒冷地における建築環境教育を通じた省エネルギー手法と自然エネルギーの有効活用に関する長年の貢献」を環境工学本委員会として推薦することとなった。

(2) 2013年度開催特別研究委員会設置申請

- ・ 締切が10月26日なので、考えがあれば早めにご連絡をいただきたい。

(3) 2013年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類

- ・ 10月26日が最終提出となっているので、各小委員会主査の方は10月21日までに濱田主査に提出していただきたい。濱田主査より一括して事務局に提出予定。

(4) 大会の反省

- ・ 会場が狭いと意見が多く出された。音環境は80名でまだ良い方であったが、光環境は50名で、多くの聴講者が会場に入らなかったとのこと。「OSの委員会発表については代理発表を許してほしい」という主旨であるので、環境工学本委員会の議事録でその旨明確にするよう、濱田主査から確認する。

- ・ 来年度の北海道大学では、机を出して収容人数を増やすように務めたいとの説明があった。

(5) 2013 年度大会

- ・ 細分類・細々分類は 10 月 21 日までに濱田主査にご連絡いただきたい。
- ・ 研究協議会についてはダブルメジャーをキーワードとして北海道支部環境部会が対応、研究懇談会については田辺先生より「アンダー40（助教クラス）が語る」という提案があった。環境工学委員会傘下の 11 の運営委員会から各 1 名を選出する予定。早い段階で決めた方がよい。

(6) シンポジウム実施報告・実施計画

- ・ チュートリアル「音環境の数値シミュレーション」について実施報告をした。
- ・ 第 71 回音シンポジウム「インパルス応答測定に基づく室内音響指標の算出に関する現状と課題－音響指標の算出に関するベンチマーク問題の作成に向けて」に関する実施計画が承認された。

(7) WG 設置申請

- ・ 室内音響小委員会に「室内音響設計事例企画準備 WG」を設置することが承認された。

(8) AIJ のデジタルライブラリ

- ・ 会員限定で、大会の研究協議会、研究懇談会の資料を無償公開することは決まっているが、2012 年度分については、大会半年後から無償公開とする。

(9) その他

- ・ 本委員会の委員長は 2 年目なので、選挙を行う旨、案内があった。
- ・ 音環境運営委員会も 2 年目なので、体制を変えることになる旨、連絡があった。

2.3 その他

(1) 予算の執行状況

- ・ 音環境運営委員会として 70%としたいので、ご協力をお願いしたい。
- WG 開催時の旅費は支出できない

3. 審議事項

3.1 催し物実施計画案

- ・ 第 72 回音シンポジウム「スピーチプライバシーの評価と制御－音声情報漏洩防止の観点から－」

→3 月の初旬で計画しており、なるべく早く日程を決めたい

→70 名の会場を予約予定

→2 月 26 日に音シンポジウム（古賀主査）開催が決まれば、第 73 回となる

- ・ 第 72 回音シンポジウム（古賀主査）

→2 月 26 日で計画している

→11 月 3 日の本委員会に諮らないといけないため、メール審議をお願いしたい

4. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会（中澤主査）

委員会を 3 回開催している。ボールデータの収集を実施している。東大生研にて聴感実験を計画中で、濱田

主査に計画書を検討していただいている。また、床衝撃音の測定法に関する文献および分析結果を整理している。ボールデータについては、小委員会で約 40 データを提供している。

次回は 10 月 4 日開催の予定。

WG は、6 月 4 日、8 月 24 日に開催し、引き続き、文献調査を進めている。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

5 月 30 日、7 月 20 日に委員会を開催。前回、昭和 52 年の総プロでの測定結果資料を入手し、現在の建物性能データと比較するため、扉の開閉など各委員のデータを収集して分析中。集合住宅に対するイメージが変化しているのではないかとということと合わせて、分析している。

次回は 9 月 27 日を予定。

③ 建築音響測定法小委員会（宮島主査）

大会前 8 月 31 日に開催。0S2 件の ppt を確認し、他の 5 編の内容を紹介があった。代理発表の件に関しては前向きに検討していただきたい。

次回は 11 月 22 日を予定。

④ 室内音響小委員会（羽入主査）

7 月 11 日に開催し、事例集の方針を決定。WG 設置案を作成している。メール審議を経て、本委員会で承認していただいた。10 月 3 日に第 1 回 WG を開催予定。

次回は 10 月 10 日に開催予定。

音響指標測定 WG は、11 月 27 日にシンポジウム開催に向けて活動中。6 月 3 日、7 月 8 日、8 月 29 日に開催し、次回は 10 月 26 日に開催。

スピーチプライバシー研究 WG は、7 月 25 日に開催し、シンポジウム企画案を作成。研究動向を調査している。

⑤ 音響数値解析小委員会（坂本主査）

7 月 11 日にチュートリアルを東大生研で開催し、64 名が参加し好評であった。9 月 18 日に開催し、チュートリアルの反省、今後の活動方針について検討。今後も学生や実務者を対象とした社会貢献として継続した方が良いのではないかと意見があった。内容については、今後検討していく予定。

⑥ 音環境規準検討小委員会（古賀主査）

8 月 29 日に開催し、学校の見直しを進めている。集合住宅に関しては、年度内に音シンポジウム「集合住宅の遮音性能規準と遮音設計指針」を開催予定でホールを予約している。

次回は 11 月 6 日を予定。

⑦ 企画・広報WG（峯村主査）

8 月 7 日に開催。

文献調査による研究動向調査について、データ入力ほぼ終了しており、検索システムについては修正中。

「仮称：住まい方マニュアル」の出版企画案の扱いについても検討を進めている。

次回は10月3日を予定。

⑧ その他：

- ・ 2013年度大会OSについて、集合住宅小委員会で前向きに検討する。

5. 他学会・研究会の予定

特になし

6. その他

特になし

7. 次回予定

11月6日（火）17:00～

2月25日（月）17:00～

以上